

業界最大規模の運営室数「ハローストレージ」がお届けする情報誌

ストレージライフ

2

Storage Life
Information Magazine

2025-Jun.

特集

ハローストレージ利用者インタビュー

No.4 A様／No.5 鈴木様／No.6 R様



梅雨の季節を迎え、いよいよ夏本番も間近となりました。夏のレジャーやアウトドア、ご旅行などの計画を立てているかたも多いのではないのでしょうか。活動的になる季節は、荷物も増えがちです。季節用品や、ご自宅では置き場所に困る大きな道具が多くなってきた…そんな時こそ、トランクルームをお役立ていただければと思います。皆様の活動的な夏を、サポートいたします。

私たちは『ストレージライフ』を通して、トランクルームを単なる「収納スペース」として捉えるのではなく、利用者の皆様一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、新たな価値を生み出す存在として焦点を当ててまいりたいと考えております。

本誌が、皆様の豊かな暮らしのヒントとなることを願っています。

ストレージライフ編集部一同



特集

ハローストレージ利用者インタビュー

No.

04

来るたびにワクワクする、 私だけの「遊びの拠点」

ハローストレージ利用歴
約2年8ヶ月

A 様



利用のきっかけは、荷物が増えて自宅が手狭になったことでした。特に困っていたのがバイクの置き場所です。広さ以外の面では自宅が気に入っており、大家さんとの関係も良好なので、引っ越しはしたくありませんでした。バイクの盗難が増えていると耳にしていたこともあり、トランクルームを駐輪場代わりにすることを思いつきました。費用はかかりますが、バイク本体が人の目に触れるタイプの青空駐輪場と比較すると、シャッターがあり施錠できる点はとても心強いです。これまで、いつも漠然と盗難を心配していましたが、ようやく安心でき、精神的なゆとりを持てるようになりました。

トランクルームの中には、愛車以外にも趣味のアウトドア用品、機材や工具なども収納しています。万が一に備えて、水や保存食、簡易トイレキットなどの防災備蓄品も置くようにしました。

トランクルームを利用したことで、元々バイクを置いていたスペースには大きな宅配BOXを設置できました。おかげで不在時でも再配達の手間がなくなり、荷物の受け取りがとても快適になりました。

私にとってトランクルームは、「遊びに行くための拠点」です。ここに来ると、週末の趣味やツーリングのプランが自然と浮かんできて、とてもワクワクする場所です。利用料金については、青空駐車場と比較すると少し高いと感じるかもしれませんが、バイクだけでなく他の荷物も置けることを考えると、利用価値は十分にあると思います。

屋外コンテナタイプのトランクルームは自由度が高く、私のようにバイク以外の趣味のアイテムや防災備蓄品も置いて、使い方の幅が広がるのが魅力だと感じています。

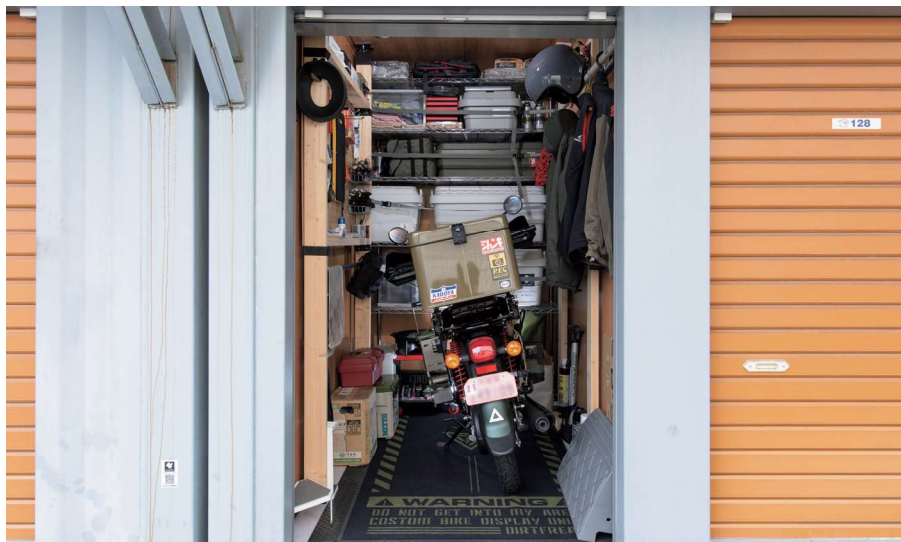
ここは私にとって単なる収納スペースではなく、日々の生活を便利にし、趣味の世界を広げ、何よりも安心と心のゆとりをもたらしてくれる、まさに「秘密基地」のような存在です。



棚を自作し、有孔ボードを取り付けて備品を見やすく収納。



シャッター部分は磁石が付くので、ライトやメンテナンス用の布巾を設置し使い勝手を向上。



バイクのオイルなどでコンテナ内を汚さないように、マットを敷いて配慮。

「トランクルームで、暮らしが変わる、生き方も変わる」

トランクルームが叶える理想的な生活をいち早く実践する利用者の方々へインタビュー。

No.

05

大工の仕事と暮らしを支える 良き味方

ハローストレージ利用歴
約4年

鈴木 様



この8帖のトランクルームにある荷物は、仕事で使う大工道具や資材が9割ほどを占めています。その他には、趣味のアウトドアやキャンプ用品、防災備蓄品も少し置いています。

収納に関しては、自分なりに工夫を凝らしています。棚やラックは、コンテナのサイズを測って全て自作しました。壁に直接ビスが打てないので、タル木を突っ張らせてそこに固定したりしています。もともと綺麗に収納したり、棚を作ったりするのが好きなので、これは楽しい作業でしたね。天井の空間ももったいないので、細長い木材や薄いものを収納したりと、空間を余すことなく活用しています。仕事現場で得た、空間を上手く使う技術が役に立っています。

トランクルームを利用するようになって、気持ちの部分が大きく変わりました。自分の仕事道具や資材が整理整頓されて収まっているのを見ると、安心感があります。どこに何があるかしっかり把握できるようになったので、

現場に行く際の忘れ物や、それに伴う突発的な買い足しなどもなくなりました。業務効率化だけでなく節約にも繋がっていると感じます。

通常、半端に残った資材は置き場がないため処分してしまうかたが多いと思いますが、私の場合はトランクルームにストックしておけるので、次の現場で使ったり、



キャスター付きの可動式ラックも自作。大きな荷物を出し入れするときは、ラックを動かして広い空間が作れます。



お店の商品棚のような見やすさ・取りやすさを意識して収納場所を自作。

必要としているかたに売ったりすることもできるので、月額料金の半分くらいは採算がとれています。それ以上に、仕事がスムーズに進み、安心して道具を収納できるというメリットが大きいですね。

このトランクルームは、単なる「物をしまふ場所」ではなく、私の仕事と日々の暮らしを支え、安心と効率をもたらしてくれる、「良き味方」です。同業の大工さんや建設業の方々にも、広いスペースに資材や道具を置いて、しかも自由に使える素晴らしいサービスだということをもっと知ってもらえたら嬉しいです。



特集

ハローストレージ利用者インタビュー

No.

06

変化する暮らしに寄りそう、なくてはならない場所

ハローストレージ利用歴
約18年7ヶ月

R 様



トランクルームを使い始めた最初のきっかけは、海外から日本に帰国・転居した際に、自宅が物であふれてしまったことでした。海外生活ですっかり物が増えて、家財道具を収納する場所が足りなくなり、家の近くでトランクルームを探し、0.5帖サイズを使い始めました。

銀座のクラブで働き始めたら、仕事で使うドレスやパンプスがどんどん増えてしまい、0.5帖では足りなくなって、2帖の部屋にサイズアップしました。

さらにその後、コロナ禍になりお店を辞め、荷物を整理して減らすことができたので、1帖にサイズダウンしました。現在は、収納物の一部をオークションで売っているの、在庫として管理していますが、特に思い入れのあるドレスやパンプスはそのまま残しておいています。荷物の量によって、部屋のサイズを柔軟に変更できるのがトランクルームの良い所ですね。

トランクルームを利用するようになって、生活が大きく変わりました。最初はただ、増えた物の置き場所・納戸

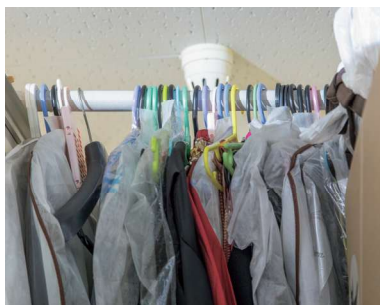


代わり程度にしか感じていませんでしたが、生活スペースにゆとりのある暮らしがこんなに快適とは、思ってもみませんでした。毛布やダウンなど、特定の時期しか使わないものはほぼトランクルームに収納しているので、家の中の空間にゆとりが生まれました。

そして何より、今の私にとっては、商品の在庫管理や



収納ケースにはアイテムの写真を貼ったり特徴を書いたりして、何が入っているかすぐに分かるよう工夫。



丈の長いドレスは突っ張り棒を活用して収納。

発送などをサポートしてくれる、無くてはならない場所になっています。家財道具の収納という悩み解決がスタートでしたが、長く使っている内に利用目的が変化しながらも、それに合わせて便利に活用できています。

私にとってトランクルームは、単なる収納スペースではなく、ライフスタイルの変化に寄り添って、生活をより豊かにしてくれる大切なパートナーのような存在ですね。



マレーシアのブランド「サラブランカ」がお気に入り、ドレスと靴はほとんど「サラブランカ」のもの。



ハローストレージに関するお問い合わせ

エリアルリンク株式会社が運用する「ハローストレージ」は全国に11万室以上を展開しており業界最大規模。便利で安心なトランクルームです。

0120-52-4185 営業時間9:30～18:00(年末年始除く)